

# 七味

沖縄では五月十五日、アメリカによる統治から日本に施政権が返還された日として平和行進が行なわれ、最近まで民が願ったのは日本国憲法への復帰でしたが、最近また二十歳の女性が元米兵に殺されるとい痛ましい事件が起きました。基地ある限り平和的生存権さえ脅かされるのです▼国連では二〇〇八年に沖縄の人々を公的に「先住民族」と認めました。国際労働機関（ILO）による「先住民」とは「独立国における一部地域の人々で、その国の共同社会の人々とは社会的・文化的・経済的独自性が異なる人々。征服、植民地化された人々の子孫で、社会・経済・文化・政治などの面で強制的に同化させられた人々」のこと▼国連はすでに四回、日本政府に勧告を出しており、二〇一四年には「最終見解」として、沖縄の人々の権利を保護し、土地や天然資源の保障措置のために法律の改正をもとめています。二〇〇七年に国連で採択された「先住民族権利宣言」は先住民族の合意がない限り、先住民族の土地を軍事に利用することを禁じています▼日本政府は、日本にはアイヌ民族以外に少数民族は存在しないと主張し、国連の勧告には「撤回」を要求しました。しかし確かに存在した琉球王国を一八七二（明治五）年に廃止させて琉球藩とし、翌年に一八七九年、軍隊と警察を率いて首里城に乗り込んだ琉球処分官が琉球藩廃止と沖縄県設置を布告した歴史的事実と基地群の矛盾をどうするつもりでしょうか。

先住民族